

活動概要

2013年から継続している、関西大学及び鳥取環境大学の学生と本学生活環境学科の学生が共同して、JR大阪駅の時空の広場で通りかかる人々に足を止めていただくイベントや休息する場を作り出す取り組みの一環である。大阪ターミナルビル(株)のご支援で、消耗品等の費用をご負担いただいている。学生たちが考えた時空の広場の使い方に相応しい「設え」を期間限定で設置する活動で、公共の場であり、かつ、下部を電車が行き来するので、事故が起こらないような材料・工法を採用するために、様々な分野のプロにお知恵を頂きながら、試行錯誤を繰り返しつつ、年毎に異なるものを設置している。

活動内容

活動・研究・委託テーマ	DIYによる都市の「場」づくり
対象となる地域・企業等	大阪駅「時空の広場」
活動学生(ゼミ・学年等)	H29年度は生活環境学科の4年生～2年生10名
連携時期	平成29年2月～11月
学外への広報方法	JRのPR紙、その他
連携内容	JR大阪駅の時空の広場において、他大学の学生と共同で「街の中の居場所」を設え。大阪ターミナルビル(株)から材料費の提供を受け、学生のアイデアに基づき学生が施工。更に、同場所において通行人を巻き込む様々なワークショップやイベントを開催。H29年度は透けるオーガンジーをスチールの輪に吊り下げ、透けることで視覚を確保しつつ、ゆれることで風の動きも視覚化されている。実施時期が夏季だったので、涼し気にゆれる布は、町ゆく人々に清涼感と休息をもたらした。
成果	当該の場所を通る人たちは、待ち合わせ、休憩、ワークショップやイベントへの参加等で「設え」を利用。学生たちは、他大学の学生達及び実社会の方々との意見交換し、実現する案の絞り込み、実現策の検討等に関して、多様な経験をしている。

研究者・研究グループからの「ひとこと」

実践的な活動であり、また他大学の学生と意見交換・協力をし合い、更には外部組織と調整を行いながら自分たちのアイデアを実現していく必要があるため、座学とは異なる「学び」が非常に多い。それはまた、完成した時には達成感も大きく、「学び」以外にも得るものが多い。就職活動に際しては、学生たちは当該活動で経験したことを、「学生時代に頑張ったこと」として披露することができるだろうから、その点からも有意義である。

活動内容PR(活動の様子・参加者の声等)

- ・学外の安全が求められる所で実施しているため、現実的に生じる様々な制約を乗り越える解決策を、他大学及び様々な分野のプロの方々との協力関係の中から、導き出してきている。
- ・H29年度に出来上がったオーガンジーのいくつかの大小のサークルは、通行する人々に様々な休息・楽しみや居場所そして清涼感を提供出来ている。



↑オーガンジーの輪に囲まれた居場所



↑サークルの中で様々なイベントも行われる



↑因州和紙で団扇とモビール作り



↑サークルを取り付けた刻の広場の俯瞰